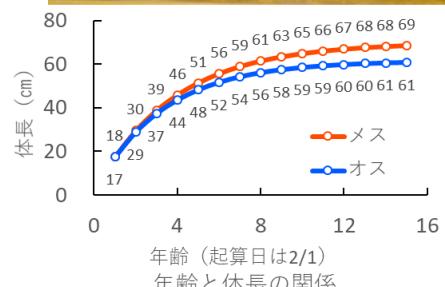


# スズキ〔地方名：せいご、ふっこ（小型）〕

## 1 生態

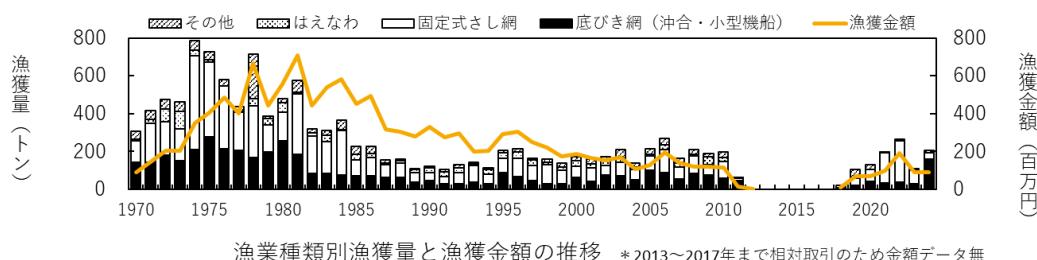
- 北海道南部以南の沿岸に広く分布し、若齢魚は汽水～淡水域にも移動する海水性両側回遊魚です。
- オスで3歳以上、メスで4歳以上でほぼ全ての個体が成熟します。産卵期は12～1月と考えられます。
- 未成魚はアミ類等の甲殻類、魚類仔魚等、成魚はサバ類やイワシ類等の魚類やエビ類を食べます。

\* Age determination and growth pattern of temperate seabass *Lateolabrax japonicus* in Tango Bay and Sendai Bay ( Wei J et al. 2019 ) により右図を作成



## 2 漁業に関する情報

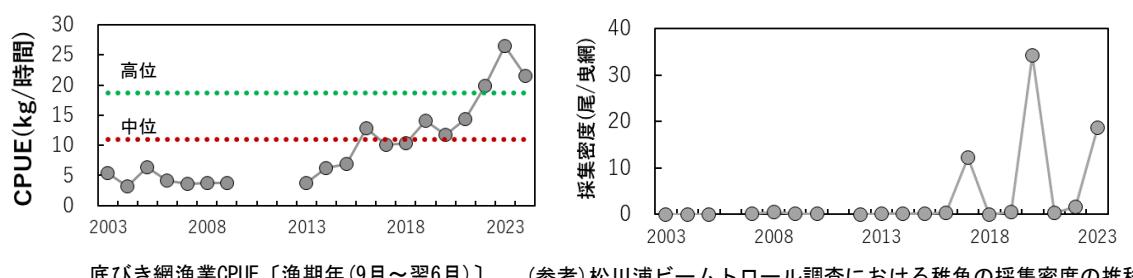
- 底びき網、刺し網で周年漁獲されています。
- 2024年（令和6年）の漁獲量は206トン、金額は89百万円でした。
- 2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2018年（平成30年）6月から再開されています。



\* 2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- 底びき網漁業CPUEを指標値として判断すると、2024年は21.5kg/時間で2023年よりやや減少しましたが、資源水準の高中位境界（18.7kg/時間）を上回り、資源水準は高位、2020～2024年漁期における資源動向は増加と考えられます。
- 稚魚調査結果から2020年級群と2023年級群が高水準と考えられ、今後の漁獲加入が期待されます。



底びき網漁業CPUE〔漁期年（9月～翌6月）〕 (参考)松川浦ビームトロール調査における稚魚の採集密度の推移

## 4 資源管理の取組み

- 冬季に産卵する親魚への漁獲圧を減らすことで、産卵量の増加につながるものと考えられます。
- 小型魚を保護することで、漁獲量及び漁獲金額の増加が期待できます。